



納所地域

小中一貫教育校創設 検討委員会だより 第1号

発行 令和5年7月

納所地域 小中一貫教育校創設
検討委員会

～洛水中学校区における小中一貫教育校創設に向けて～

「納所地域 小中一貫教育校創設 検討委員会」を設置

○令和3年2月に横大路小学校PTAが洛水中学校区での「小中一貫教育校の創設に向けて取組を進めること」を決議され、その後、令和5年3月、納所小学校PTA、洛水中学校PTAが「小中一貫教育校の創設を目指した取組を推進すること」を決議されました。

＜納所小学校PTAの活動＞

▽横大路小学校PTAから、納所小学校と横大路小学校が統合し、洛水中学校と合わせての「洛水中学校区における小中一貫教育校創設」について検討依頼を受け、「現状維持か、小中一貫教育校創設に進むのか」を検討するため特別委員会を設置されました。
▽PTAアンケートや活動報告会なども踏まえ、「納所小学校の将来のことを考え、子どもたちにとっては、小中一貫教育校がよい。通学は課題であるが、明確であるので、小中一貫教育校創設の要望書が提出されれば、洛水中学校区全体でよりよい解決に向けて取り組んでいける。」と考え、PTAとしての意見をまとめられました。

○3校のPTA決議がそろい、令和5年3月には納所小学校PTAから、4月には横大路小学校PTAから各地域へ小中一貫教育校創設に向けた検討依頼がありました。

○納所自治連合会では、子どもたちのよりよい教育環境の充実に向けて検討したPTAの総意を受け、令和5年5月の総会において、「検討委員会を設置し、学区の考えをまとめること」を承認されました。

○そして、「納所地域 小中一貫教育校創設 検討委員会」を設置し、以下の委員13名を選任されました。

○今後、住民のみなさまからご意見をいただきながら、本検討委員会で協議してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

＜納所地域 小中一貫教育校創設 検討委員会 委員名簿（敬称略）＞

藪内 一枝	納所自治連合会 会長	泉 みちこ	納所自治連合会 副会長
津田 純子	納所自治連合会 会計	一村 かずよ	納所自治連合会 庶務
東谷 正征	納所自治連合会 顧問	河嶋 トモ子	社会福祉協議会 会長
藤 次代	地域女性会 会長	小池 史郎	少年補導委員会 納所支部長
中道 富貴子	民生児童委員会 会長	遠藤 正春	体育振興会 会長
山本 博則	納所小学校 PTA特別委員会委員長		
寺島 尚子	納所小学校 PTA会長（令和5年度）		
森本 晓子	納所小学校 PTA会長（令和3・4年度）		



「納所地域 小中一貫教育校創設 検討委員会（第1回）」開催

▽日 時：令和5年6月15日（木）19時～20時

▽場 所：納所小学校

▽内 容：

【委員長および副委員長の選任】

委 員 長：藪内 一枝 納所自治連合会 会長

副委員長：寺島 尚子 納所小学校 P T A会長

【今後の進め方について】

- ・小中一貫教育校創設について、誰もが理解しやすく、イメージをもっていただけるよう「検討委員会だより」を発行する。また、住民説明会を行うことで、より多くの方に知っていただき、ご意見をいただき、進めていくことを確認。
- ・地域住民にとって大事なことになるので、自治会役員等の協力をえて、「検討委員会だより」は全戸配布する。



（検討委員会の様子）

【意見交換】

- ・小中一貫教育校の新しい環境は子どもにとってよいと思う。
- ・納所小学校 P T Aが出された結論を尊重したい。
- ・住民説明会で「小中一貫教育校」について丁寧に説明してほしい。
- ・特に低学年の子どもたちにとって通学が心配。
- ・地域と保護者が協力し、課題を解決しながら、子どもたちのために洛水中学校区に新しい学校をつくりていきたい。 など

こうした意見や住民のみなさまから寄せられる意見を踏まえ、また、3校 P T Aの思いをしっかりと受けとめ、できるだけ早期に地域の考えをまとめていきたいとの考えを共有。

小中一貫教育校創設 住民説明会を開催します！

洛水中学校区における小中一貫教育校創設について、本検討委員会主催による住民説明会を開催します。ぜひご参加ください。みなさまの意見などをお待ちしています。参加申込は不要です。直接会場にお越しください。よろしくお願いします。

＜納所地域＞

「洛水中学校区における小中一貫教育校創設に向けて」説明会

▽日時：令和5年7月20日（木）19時～20時

▽場所：納所小学校

▽内容

- ・ P T Aによる小中一貫教育校の検討について
- ・ 小中一貫教育校について
- ・ 質疑応答 など

※ 納所小学校 P T A、納所小学校長、
洛水中学校長、京都市教育委員会が出席し、
説明のうえ、質疑にお答えします。



洛水中学校区3校（洛水中・横大路小・納所小）PTAの取組

現在までの3校PTAの取組について紹介します。それぞれのPTAにおいて検討され、特別委員会だより、学校だよりなどで周知しながら、保護者への説明会も実施したうえで、PTA総会において小中一貫教育校創設の取組を進める決議をされています。

① 横大路小学校PTAで子どもたちのよりよい教育環境の充実を目指し検討がはじまる

- 令和2年8月、横大路小学校PTAが「小学校の移転か、小中一貫教育校創設か」を考える特別委員会「教育の未来を考える会」を設置。9月に保護者アンケートを実施し、11月にアンケートの意見も踏まえ、家庭教育学級を開催。
- 令和3年2月、横大路小学校PTAは、臨時総会において「小中一貫教育校の創設に向けて取組を進めること」を決議。

② 納所小学校PTA、洛水中学校PTAが横大路小学校PTAから「洛水中学校区における小中一貫教育校創設」の検討依頼を受ける

- 令和3年2月に納所小学校PTA、3月に洛水中学校PTAに検討依頼。
- 納所小学校PTAは、令和3年3月に特別委員会を設置し、洛水中学校PTAは、PTA運営委員会が中心となり検討。
- 横大路小学校PTAは、小中一貫教育校の理解を深めるため特別委員会での協議を継続。



③ 3校のPTAが連携 合同会議、小中一貫教育校見学会などを実施



- 3校PTA合同会議を実施。（令和3年12月）
- 3校PTA合同で小中一貫教育校見学会を実施。（令和4年5月）
- 開晴小中学校の初代校長の初田 幸隆 先生の講演会を実施。（令和4年9月）
- 3校PTA代表者会を実施。（令和5年1月）

④ 3校PTAの決議がそろう！！

- 令和5年3月、納所小学校PTA、洛水中学校PTAが「小中一貫教育校の創設を目指した取組を推進する」決議。横大路小学校PTAと合わせ、3校の決議がそろう。
- 令和5年3月・4月に、横大路地域、納所地域のみなさまへ小中一貫教育校創設について検討を依頼。
- 令和5年4月、3校PTAによる代表者会を実施し、地域の検討への協力と3校PTAが連携していくことを確認。
- PTA特別委員会委員長等がこの6月に設置の横大路地域、納所地域の「小中一貫教育校創設 検討委員会」メンバーとなり、地域のみなさまとともに検討中。

「未来の学校づくりを考えるプロジェクト」バックナンバーから紹介

納所小学校 P T A の取組は「未来の学校づくりを考えるプロジェクトだより」として、これまでに全 7 号を発行しています。以下に一部抜粋したものを紹介します。

小中一貫教育校では、小学 1 年生から中学 3 年生までが 1 ~ 9 年生として同じ学校で学ぶことになります。



★ 第4号(令和4年 6月発行) 開晴小中学校の見学会

～開晴小中学校長 野村 昌孝 様からのお話をきいて～

「4年生、7年生を節目としつつ、入学してから9年生の最後までを教職員が同じ目線で見つめて教育活動を行っています。」「保護者は、中学生が小学生をいじめることを危惧されましたが、全くありません。やんちゃな子どもはいたが、下級生には非常に優しく、小学生も安心して中学生と触れ合っています。」など小中学校の様子を教えていただきました。

特に「社会に出れば、多様な人々とつながり、生活をします。小中一貫教育校はより社会に近い環境であり、日々の学校生活の中で人とのよりよい関係を築く力を育むことができます。」と話された部分が印象として残っています。

★ 第5号(令和4年11月発行) 初田 幸隆 開晴小中学校初代校長の講演会

講演会のお話の中から ～小中一貫教育はなぜ必要か～

小学校 6 年、中学校 3 年という枠組みは、子どもの発達と合わなくなっています。これから社会を見据え、小中の教員が義務教育 9 年間でどのように子どもを育てるのかとともに考え、目標の実現に向けて取り組む「小中一貫教育」の重要性が高まっています。

目標の実現において自ら課題解決できる力を持つ必要があることから、教え込む教育から自ら学ぶ教育への転換、縦割り活動等の多様な人とのつながりの中で学ぶ場やしくみが必要となります。

「小中一貫教育校創設について」ご意見やご質問などありましたら、
学校または検討委員会委員までお寄せください。

■納所小学校 TEL : 631-2032 FAX : 631-7201
E-mail : nouso-s@edu.city.kyoto.jp

納所小学校ホームページには、「未来の学校づくりを考えるプロジェクトだより」(1 ~ 7 号)、「洛水中学校・横大路小学校・納所小学校 3 校 P T A 合同だより」、本だよりを掲載中。